



四季想「観游魚」…………… 1

ツナ缶市場、国内需要は堅調に推移

一カツオ相場安定もキハダ高値圏一

…………… 三浦正幹 2

ツナ缶市場は、新型コロナウイルスの影響による内食需要の高まりにより堅調に推移している。近年は減少基調で推移していた国内生産量も2020年では増加に転じた。他方、輸入量も増加しており、最大供給国であるタイの輸出量増加も特徴的な動きであった。本稿では、2020年(1～12月)の生産量、輸出入量等データからツナ缶市場動向を解説する。

研究報文

ヒートシールの溶着面温度の直接的制御法
《界面温度制御》の開発

…………… 菱沼一夫 15

ニュースファイル(2021年7月)…………… 33

2020年産くり缶詰・びん詰在庫調査結果
…………… 35

★放射路
食品・流通…………… 40

缶詰見聞・体感録 第123号
フルーツ雑感
…………… 黒川勇人 42

ニュース&トピックス…………… 52

続・琴川渉捕物控
第38回 氷雪なにものぞ
…………… 宇佐美昇三 56

もう町から「本屋さん」が消えて久しい。電車の中で左右を見ると7割方はスマホである。これで今後、環境問題や国際緊張の世界に日本を導いて行く人材が育つのだろうか。想像力、対話力は、過去から学んで育つ。取材メモ(捕物控)から有用そうなネタを探して提供する。

缶詰、びん詰、レトルト食品生産数量
(2021年1～3月期1次集計分速報)
…………… 63

2021年1～3月期の缶詰、びん詰生産は40.0万トン(6,268万箱。実箱)で、前年対比98.3%となっている。内訳は、丸缶38.5万トン、6,024万箱(飲料を除いた丸缶では3.5万トン、471万箱)、大缶0.4万トン、23万箱、びん詰1.0万トン、221万箱となっている。レトルト食品の生産は、8.3万トン(1,321万箱)で前年対比106.3%となっている。

缶詰、びん詰、レトルト食品全国販売データ
2021年7月品目別商品別金額シェア
…………… 83

缶詰短信……………36	日本介護食品協会コーナー……………93
魚肉ソーセージコーナー……………45	業界消息……………94
缶詰輸入情報……………46	研究所だより……………95
缶詰輸出情報……………48	協会日誌……………96
缶詰関連統計情報……………50	編集後記……………98
海外ジャーナル……………60	

諸般の事情により「企業最前線～経営者に聞く～」は当面の間休載となります。

表紙カット (株)日本出版制作センター
レイアウト 澄田 静